

果樹カメムシ類の発生予測

令和7年10月7日
静岡県病害虫防除所

●10月の発生予測

- ・**平年より少ない**と予想される。ただし、本年は本虫の工サとなるヒノキ球果が少ないことから、工サを吸い尽くした本虫が**一部園地に飛来すること**も想定されるため、**引き続き警戒が必要**である。特に、**ヒノキ・スギ林の隣接園地や台風・暴風雨後の園地では見回りを強化し、早期発見に努める**。

●果樹園への飛来情報

- ・多くの果樹園では飛来はみられていないが、**西部地域の一部(かんきつ、かき)で若干の飛来が確認**されている。

●令和7年(2025年)の発生状況 (10/7時点)

- ・9月以降は平年並～少ない地域が多く、ほ場への飛来もほとんどみられていない。
- ・県内4か所の予察灯における9月の合計誘殺数は、**平年より少なかった**。
- ・県内6か所のフェロモントラップにおける9月の合計誘殺数は、**平年並だった**。
- ・ヒノキ球果の着果量は、**平年より少なかった**(着果量が少ないと新成虫の増殖は抑制される)。
- ・9月のヒノキ球果における寄生数は、**平年より少なかった**。
- ・9月のヒノキ球果におけるカメムシ吸汁痕／球果は、**平年よりやや少なかった**(吸汁痕数が少ないと飛来が遅くなる)。

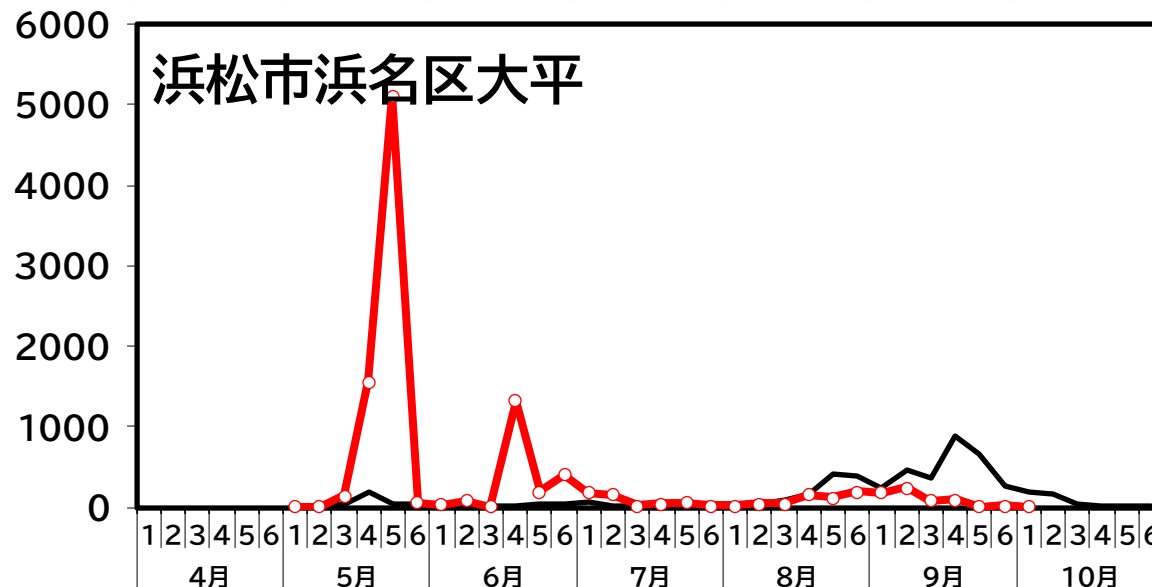
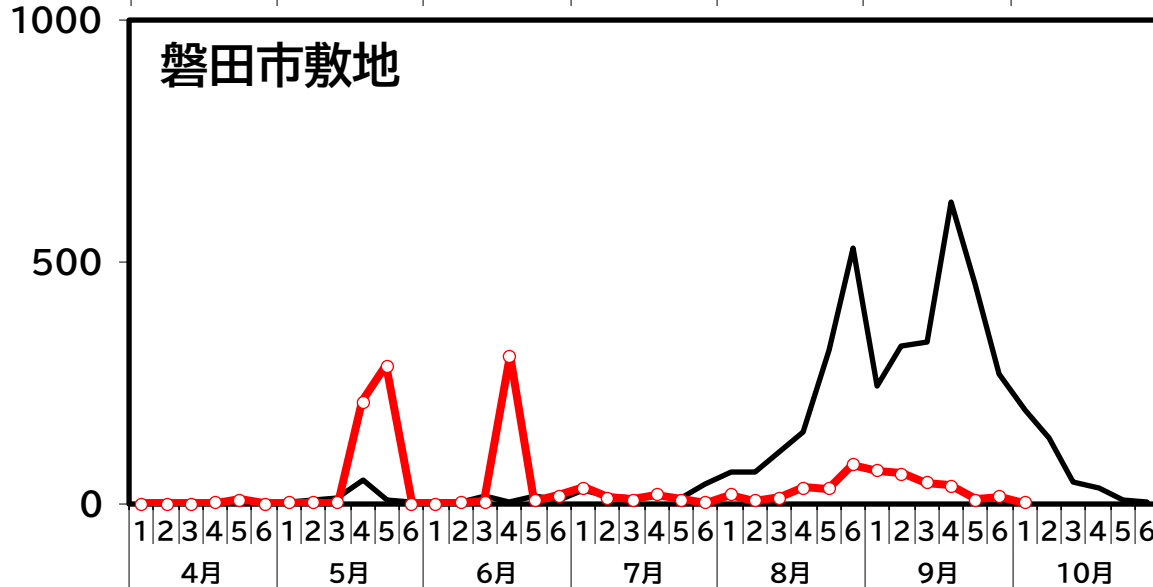
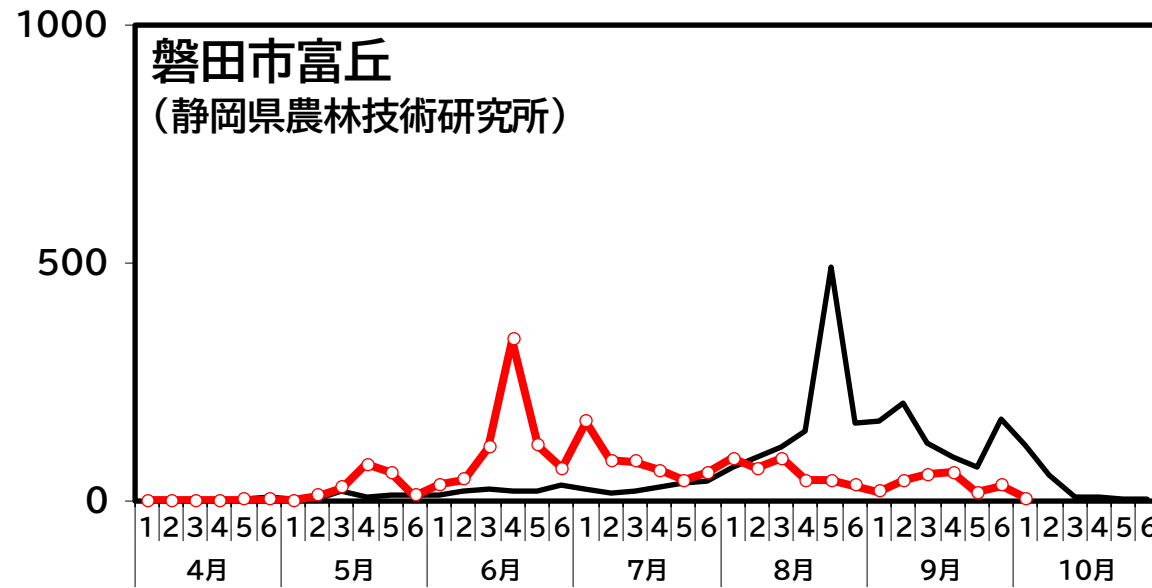
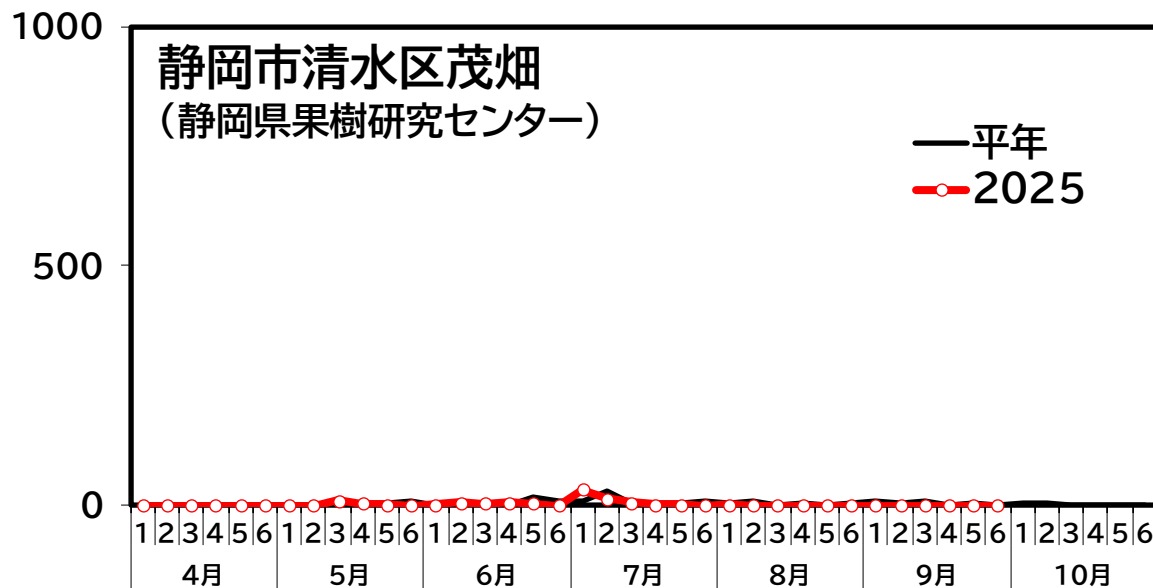


チャバネアオカメムシ 2025年の発生状況 予察灯

注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

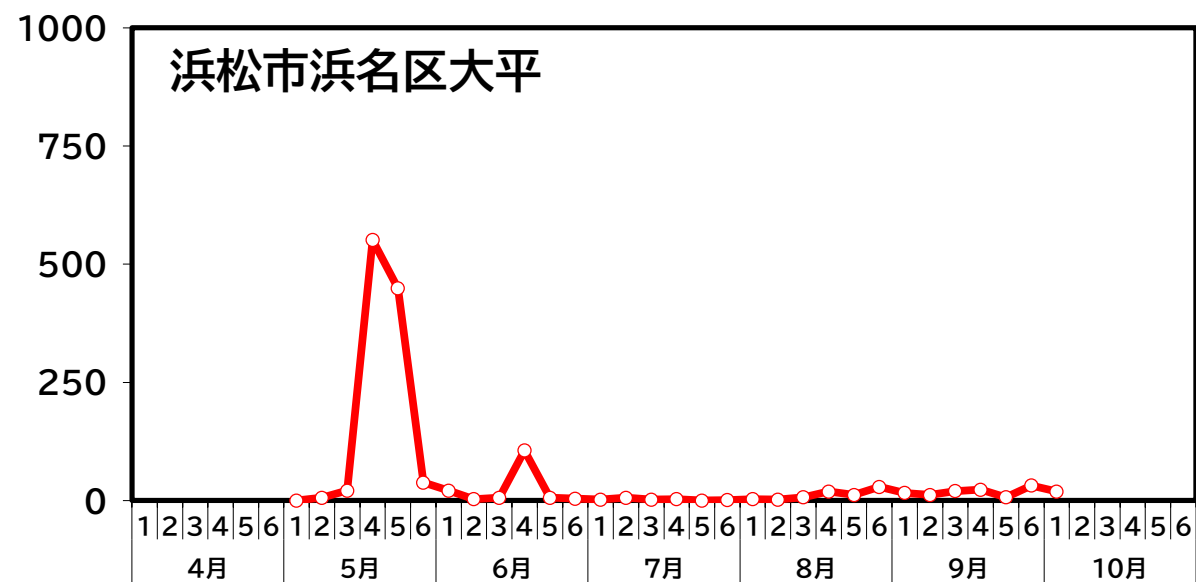
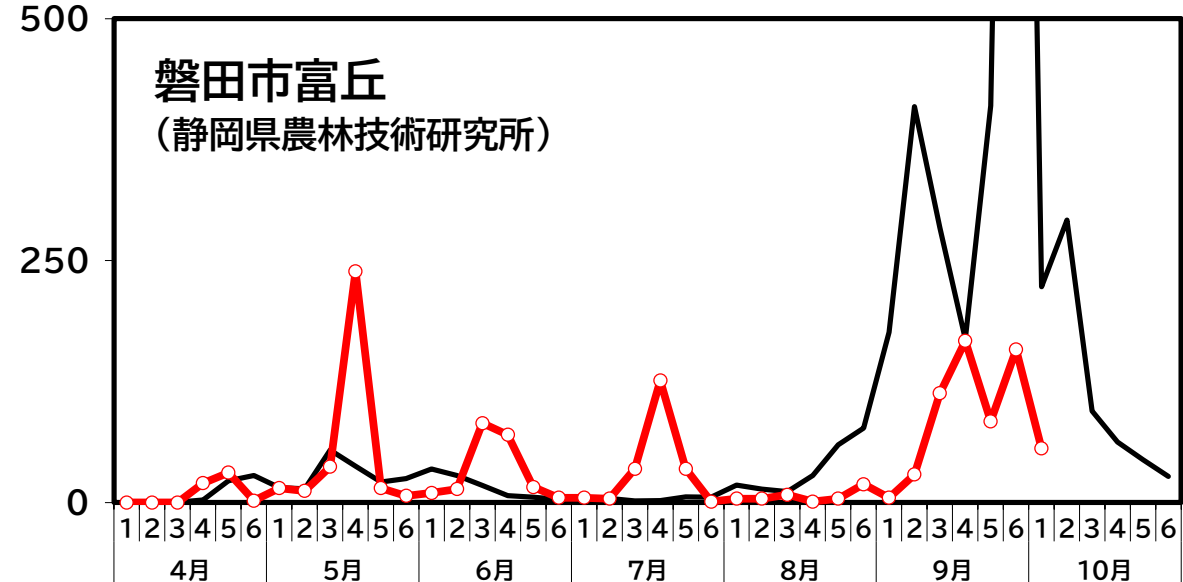


誘殺数／半旬





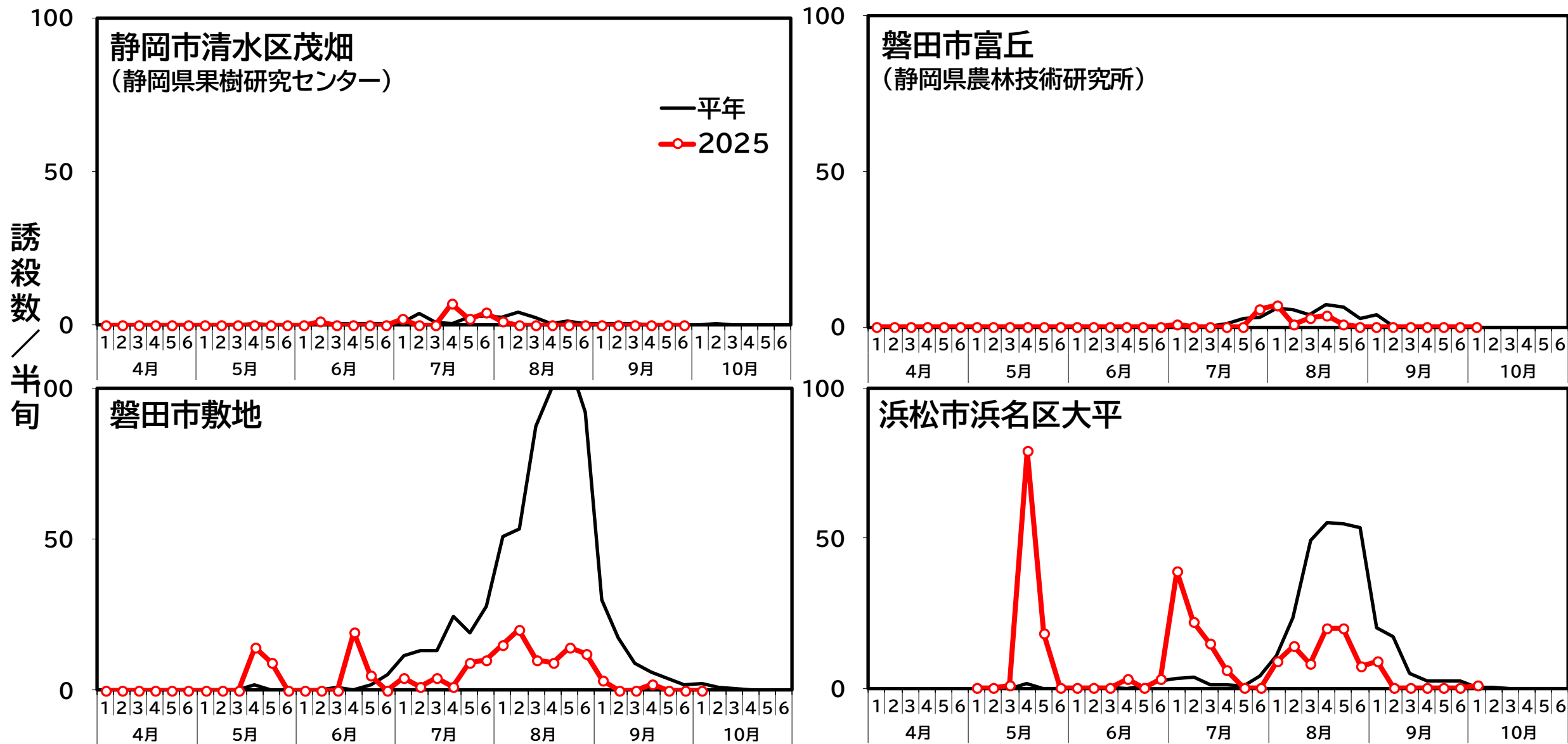
注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。





クサギカメムシ 2025年の発生状況 予察灯

注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。





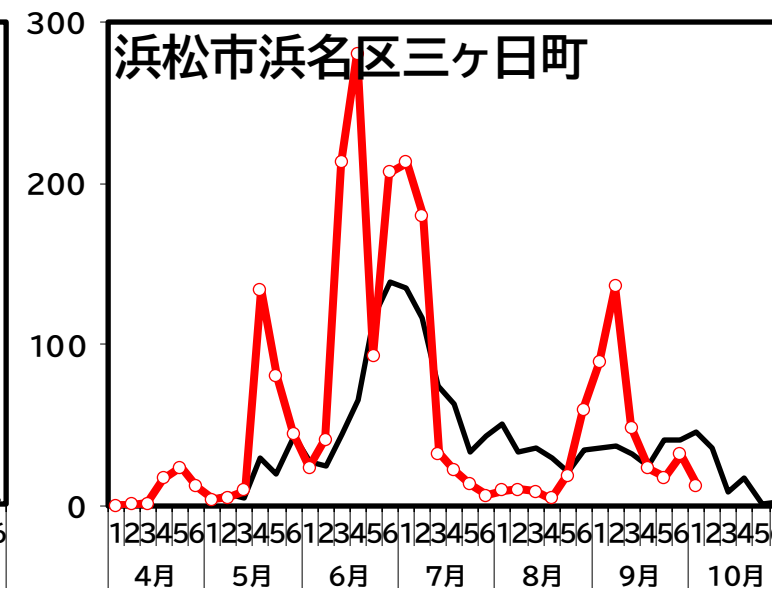
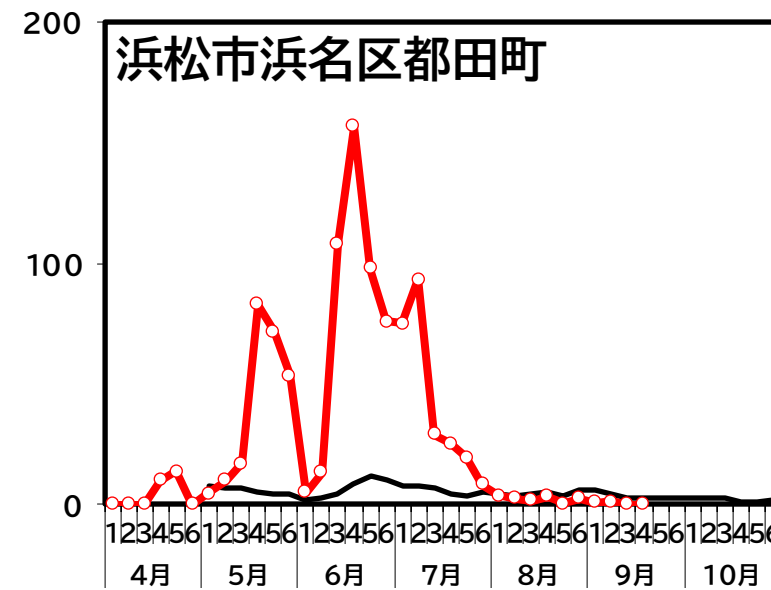
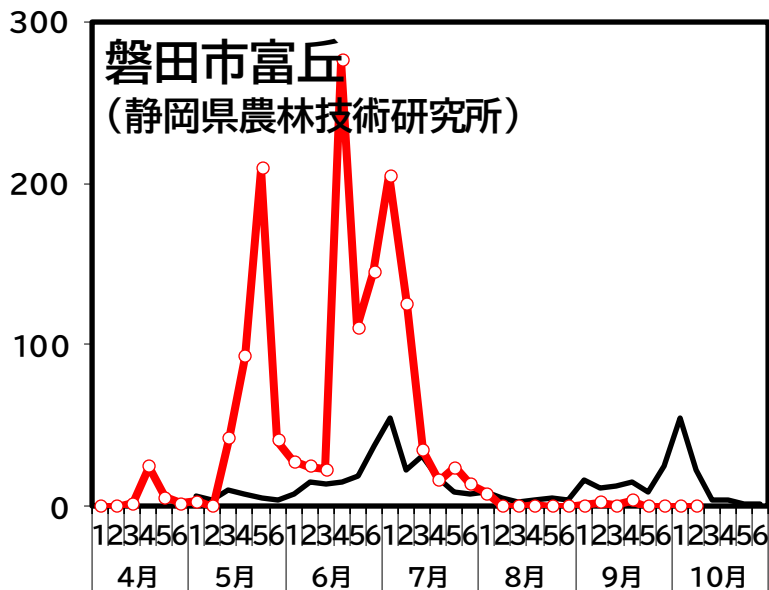
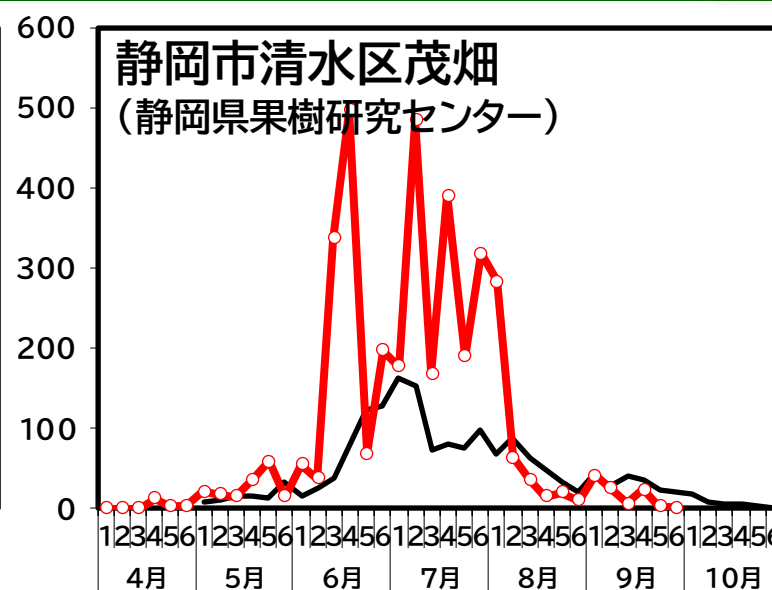
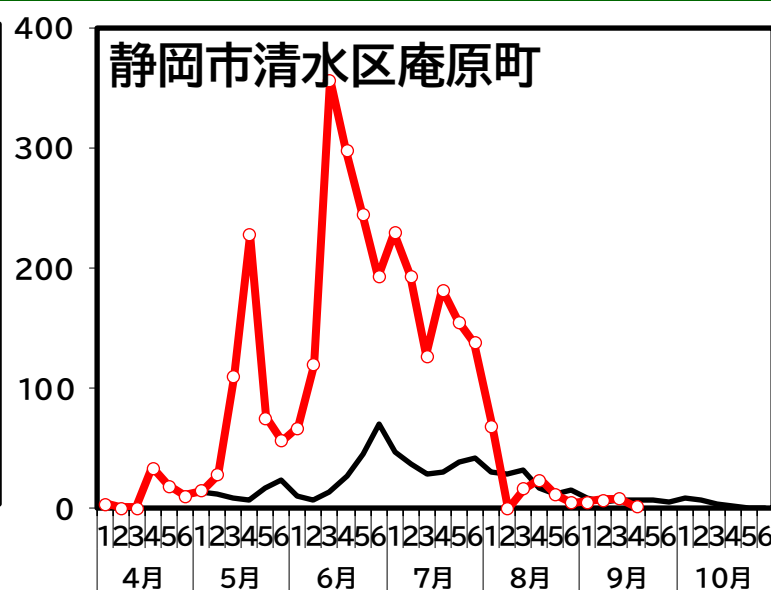
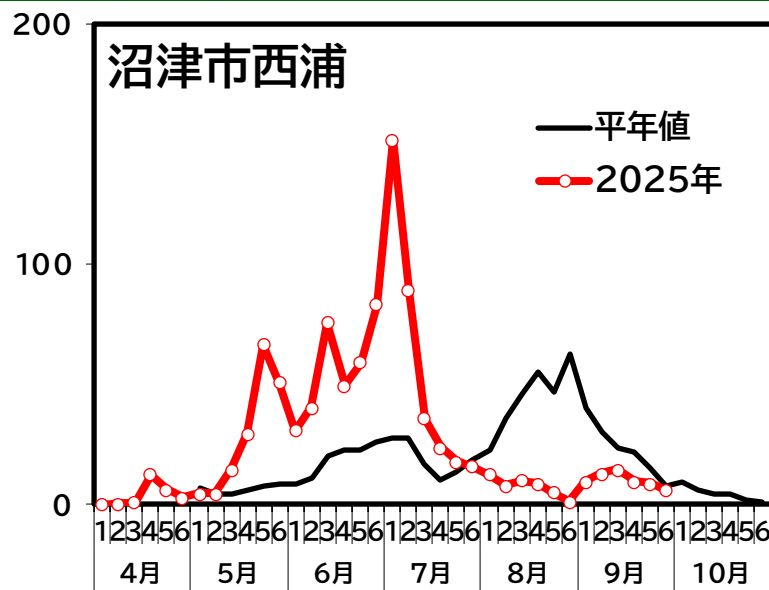
チャバネアオカメムシ 2025年の発生状況

フェロモントラップ



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬





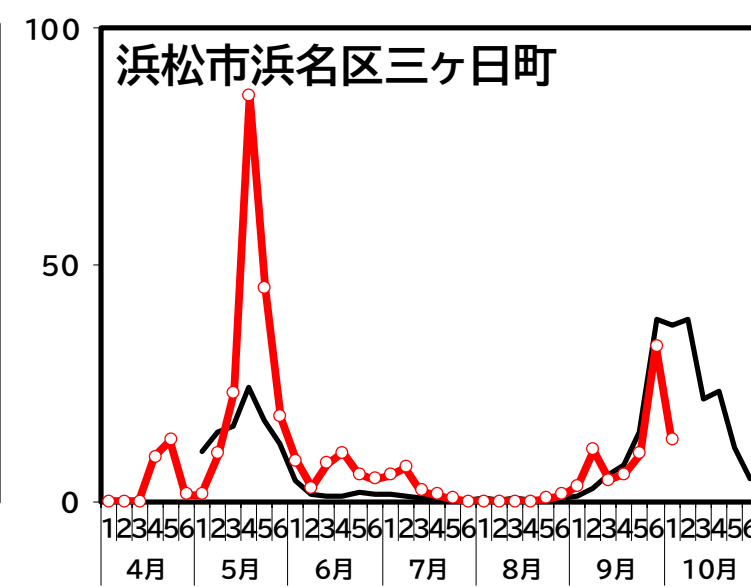
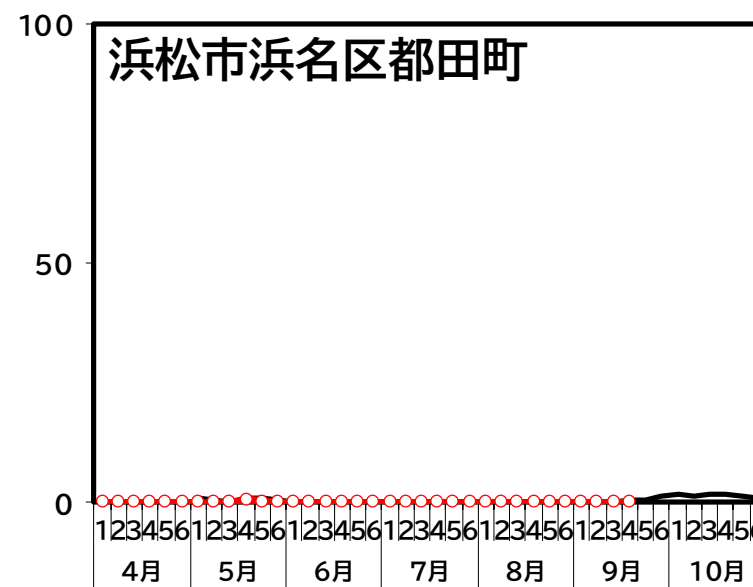
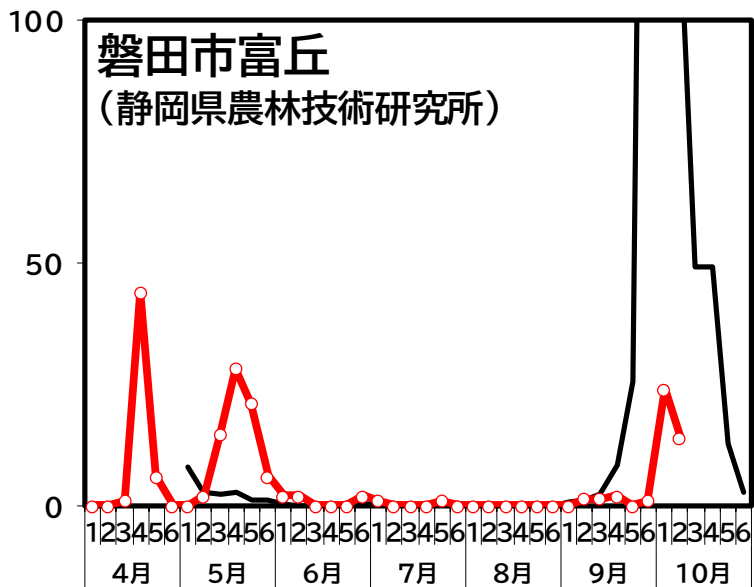
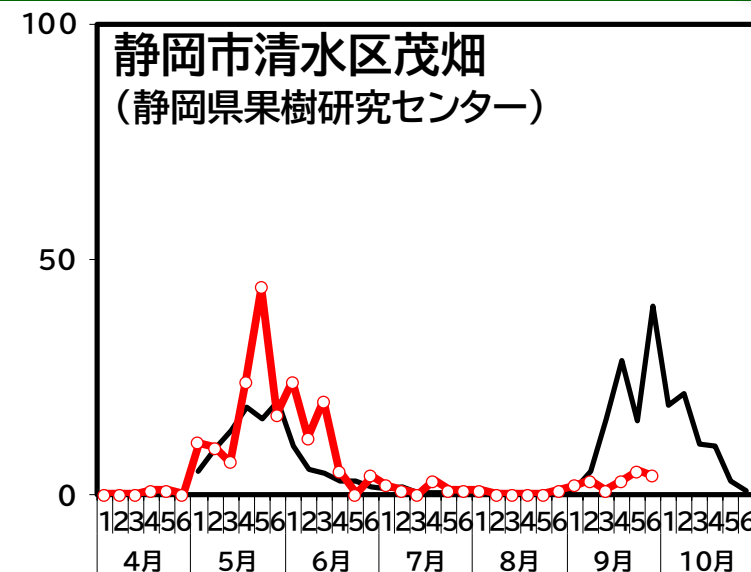
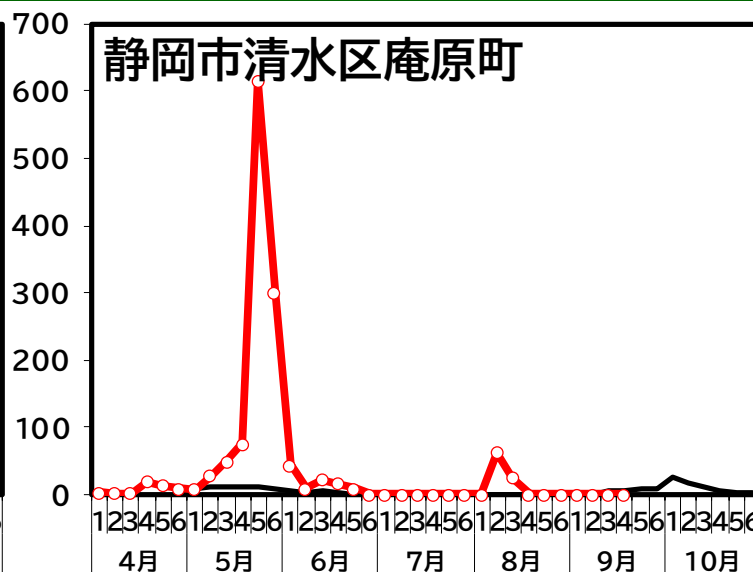
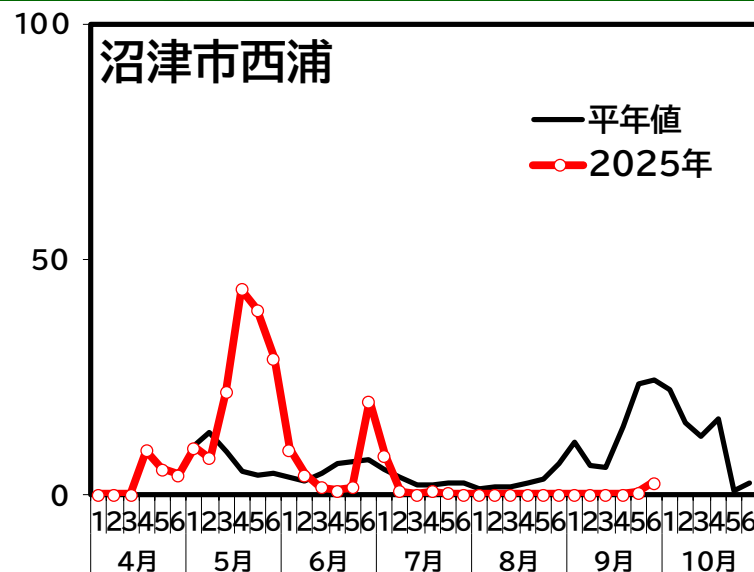
ツヤアオカメムシ 2025年の発生状況

フェロモントラップ



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数
／
半旬





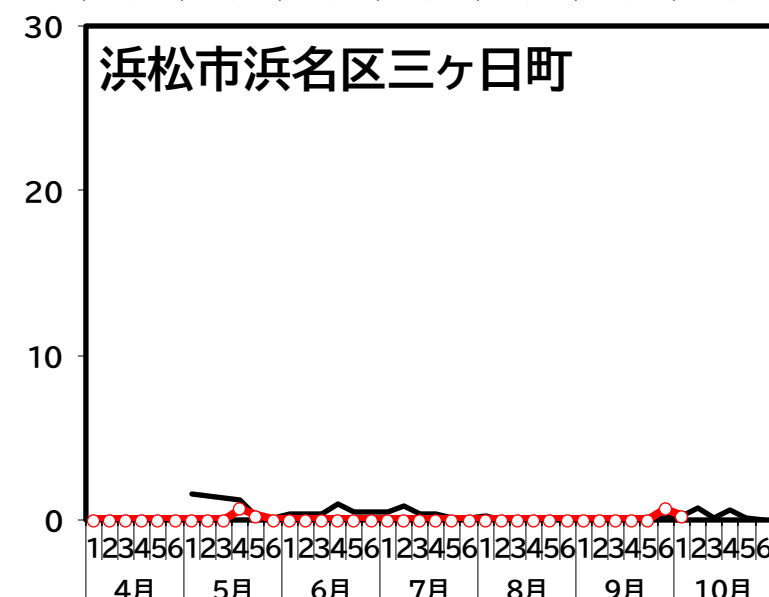
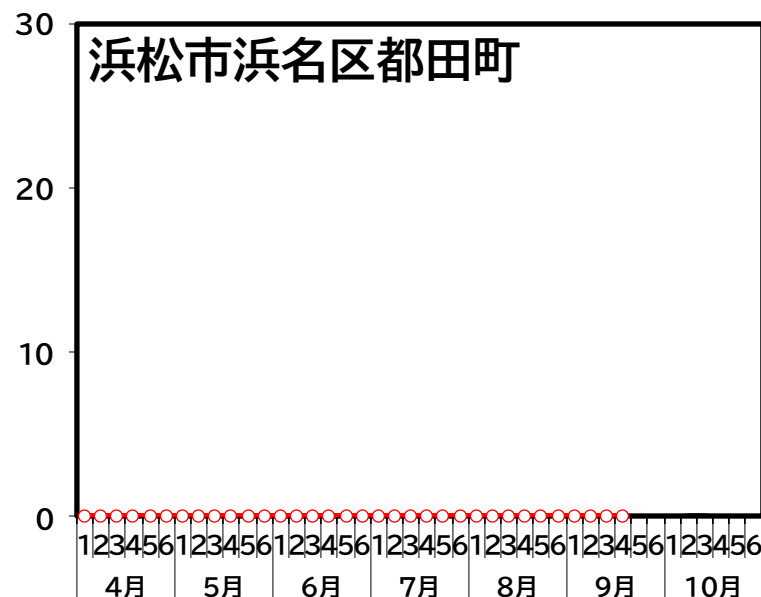
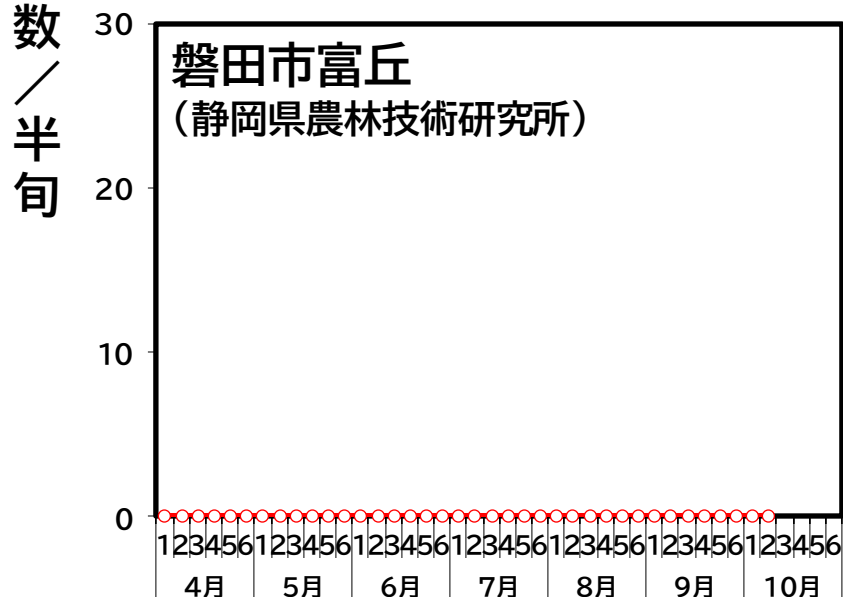
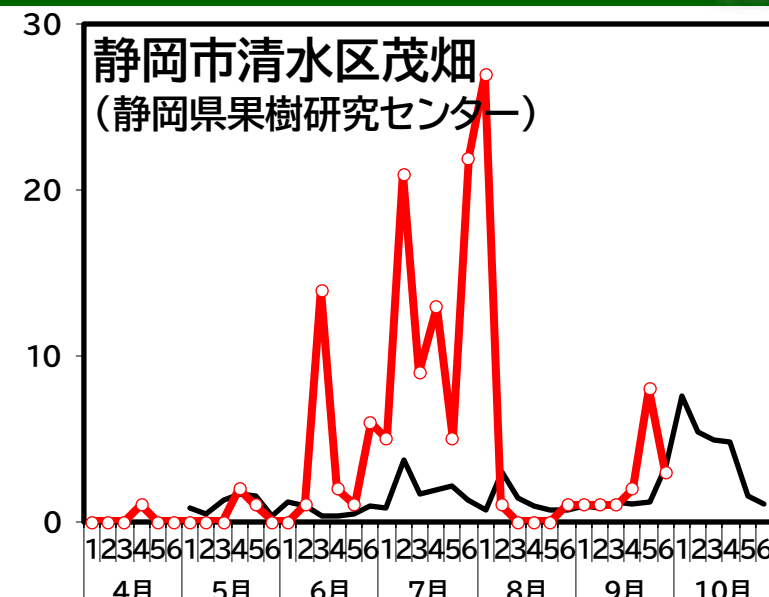
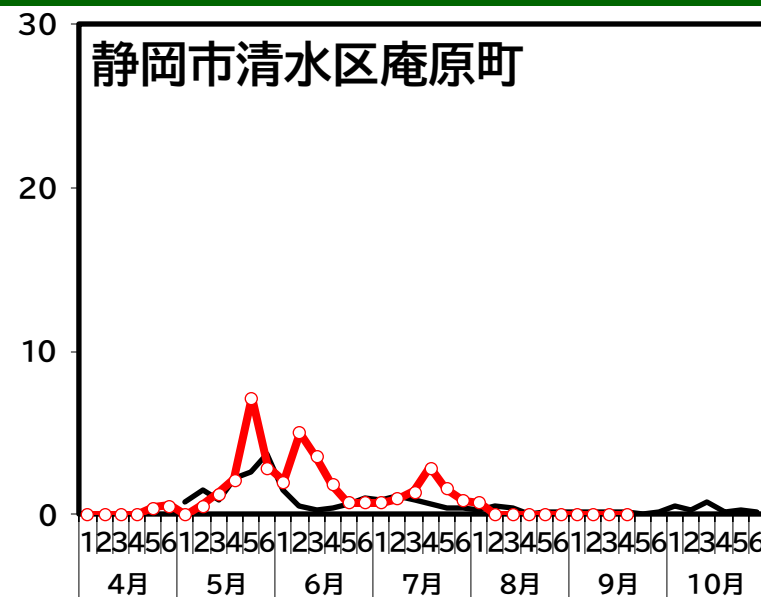
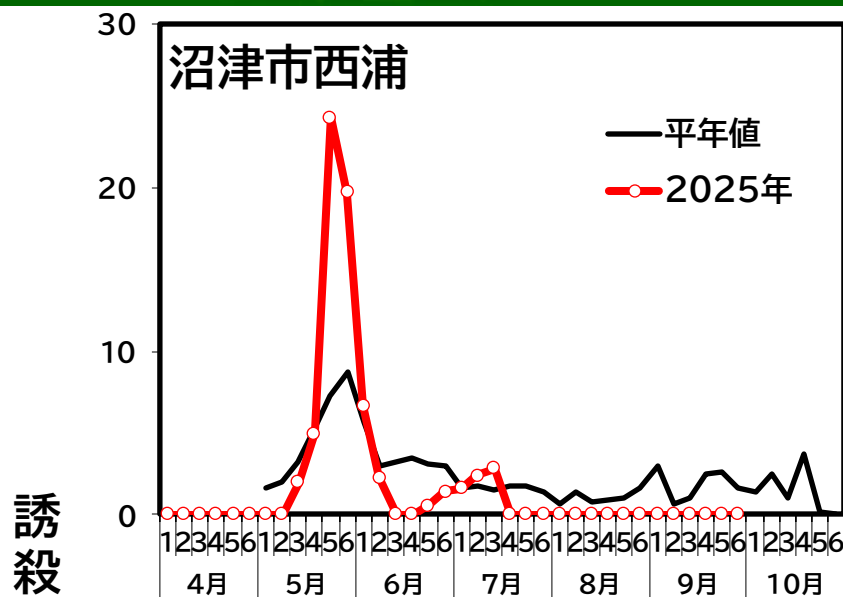
クサギカメムシ 2025年の発生状況

フェロモントラップ

注)最新半旬データは次回
の更新で数値が

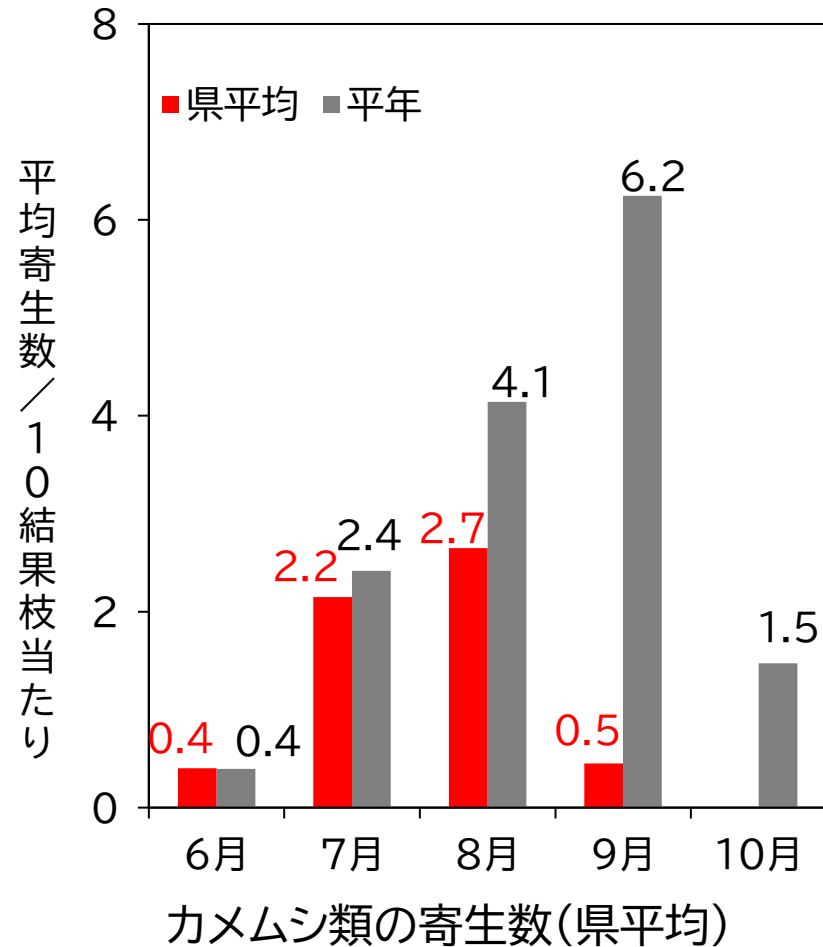


注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

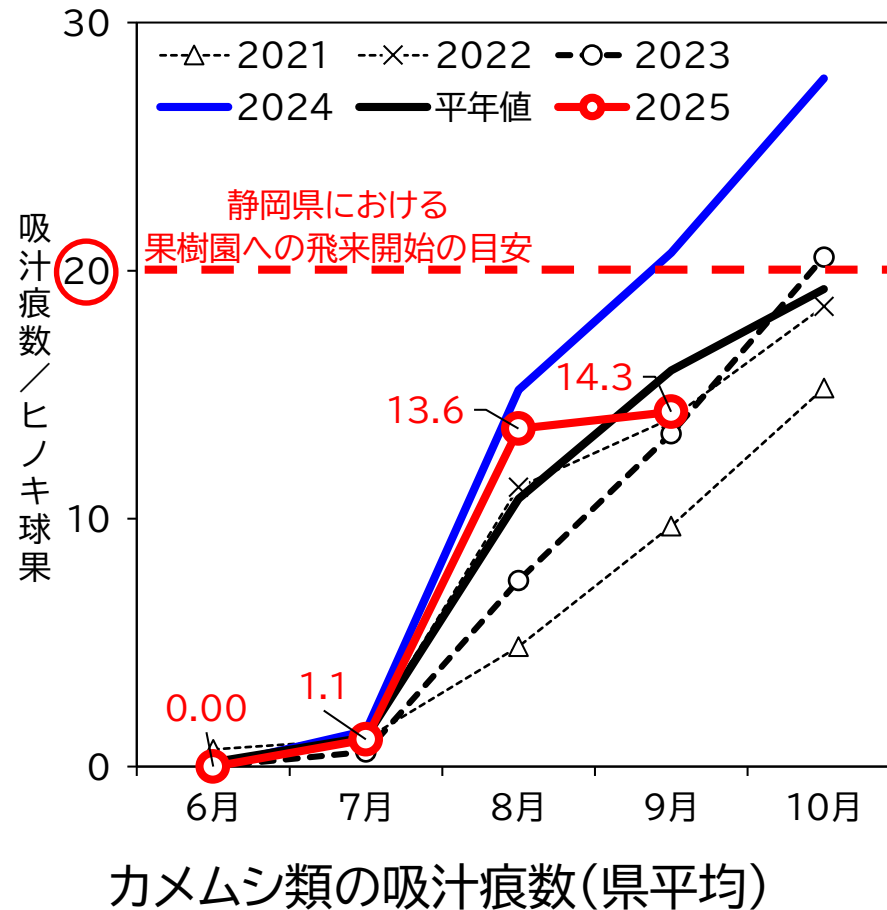




ヒノキ球果における カメムシ類寄生数とカメムシ類吸汁痕数



9月上中旬のカメムシ類寄生数は0.5頭／10結果枝(平年6.2頭)と**平年より少なかった**



9月上中旬のカメムシ類吸汁痕／球果は14.3(平年16.0)と**平年よりやや少なかった**

地域別の吸汁痕数／ヒノキ球果		
	9月	平年
県	14.3	16.0
東部	14.5	15.8
中部	6.7	15.9
西部	18.0	16.2

(参 考)

- **果樹園への飛来予測日(2025年)**
- **ヒノキ球果(実)の着果量(2025年)**
- **チャバネアオカメムシ越冬量(2025年)**
- **果樹カメムシ類の発生状況(2024年)**

カメムシ類の果樹園への飛来予測日 (ヒノキからの離脱予測日)

ヒノキ球果におけるカメムシ吸汁痕数と離脱予測日

地域	吸汁痕数／球果	起点日 (球果採集日)	離脱予測日
東部	1.5	7/18	9/4
中部	0.8	7/17	9/6
西部	1.1	7/15～16	9/3～4
県平均	1.1	7/17	9/5
吸汁痕数が最も多い地点	3.1	7/15	8/26
平年値	1.2	7/15～18	9/2～5

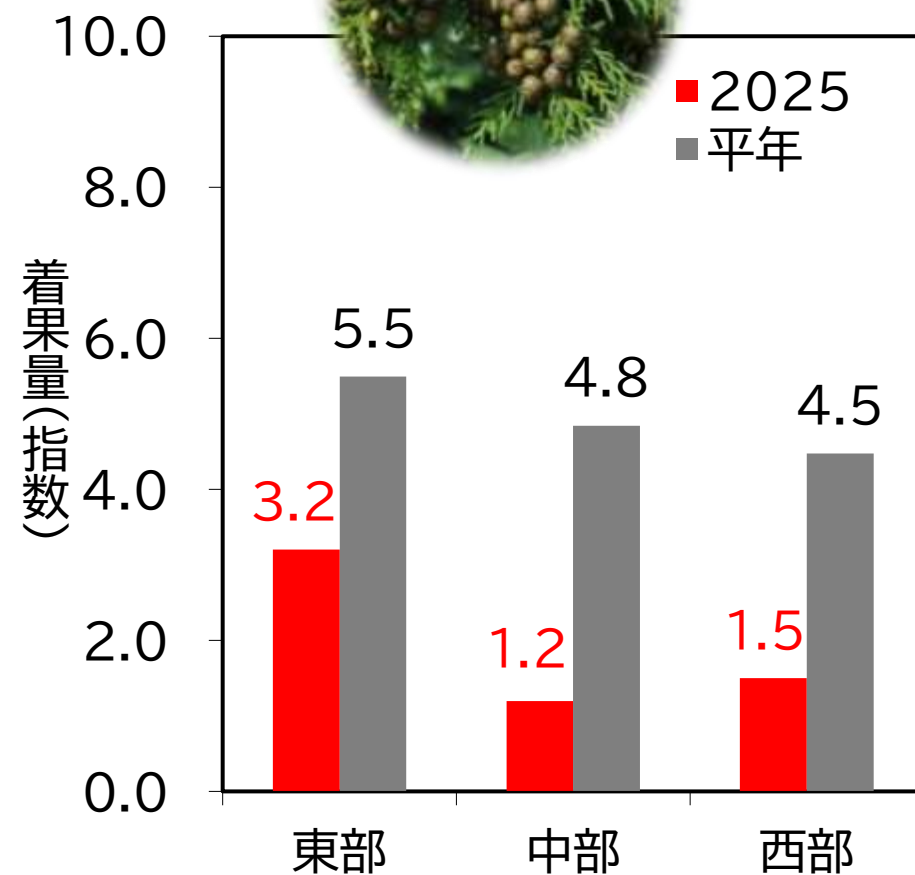
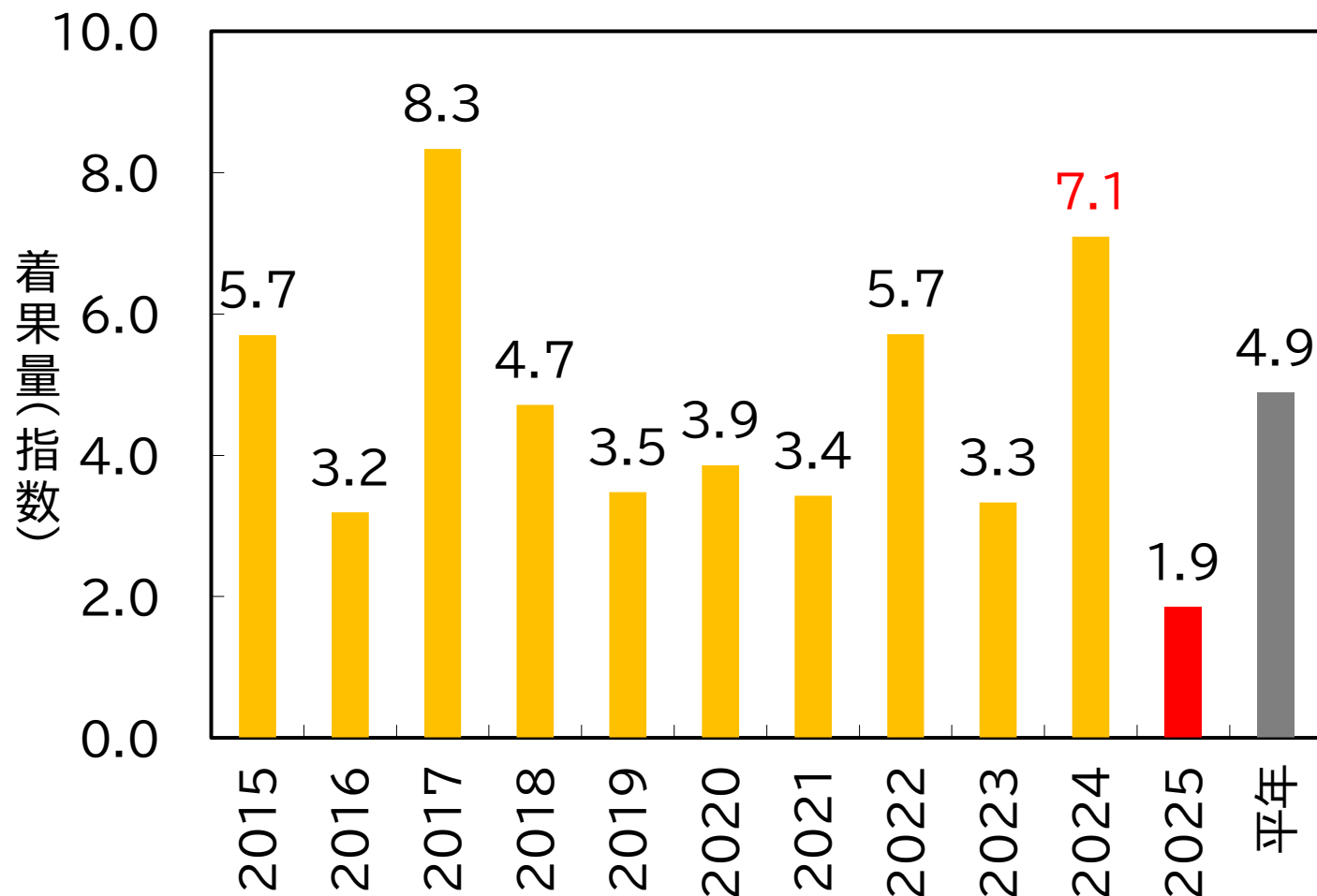
果樹園への飛来予測日

9月3～6日 (地域により異なる)

ただし、吸汁痕数が最も多い地点では**8月26日**



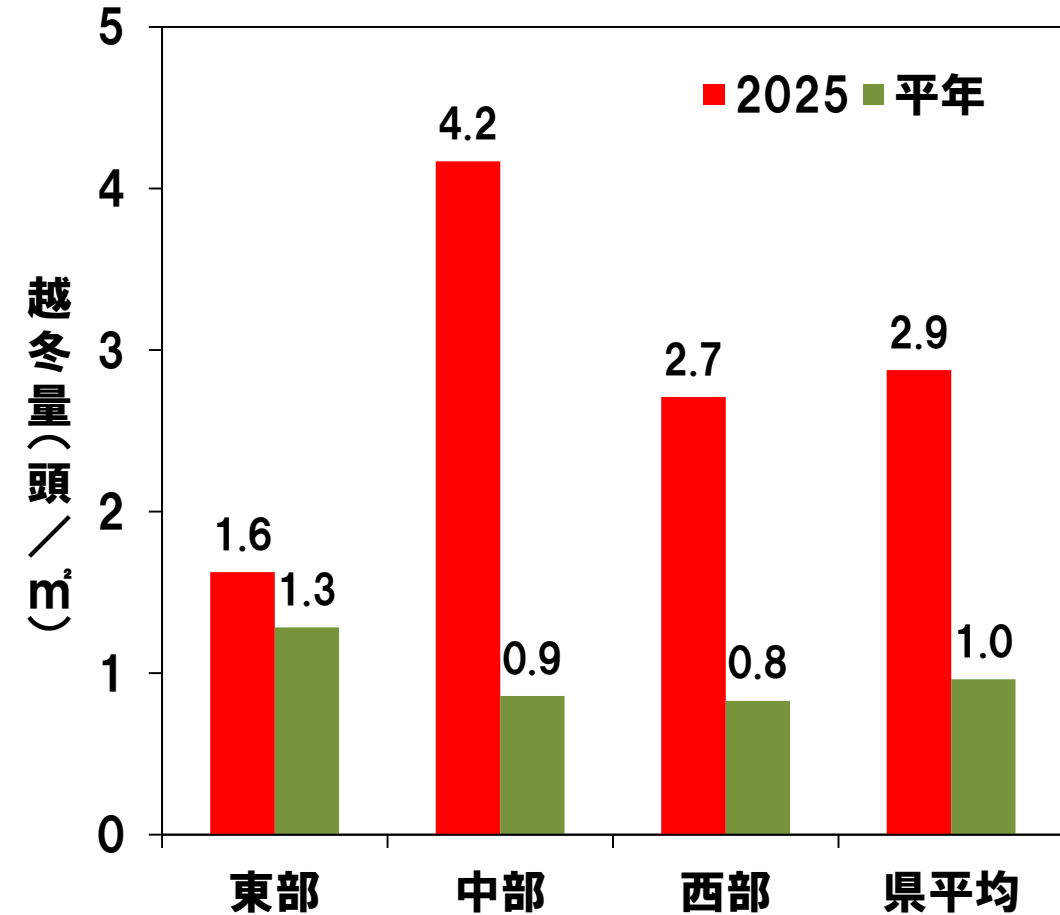
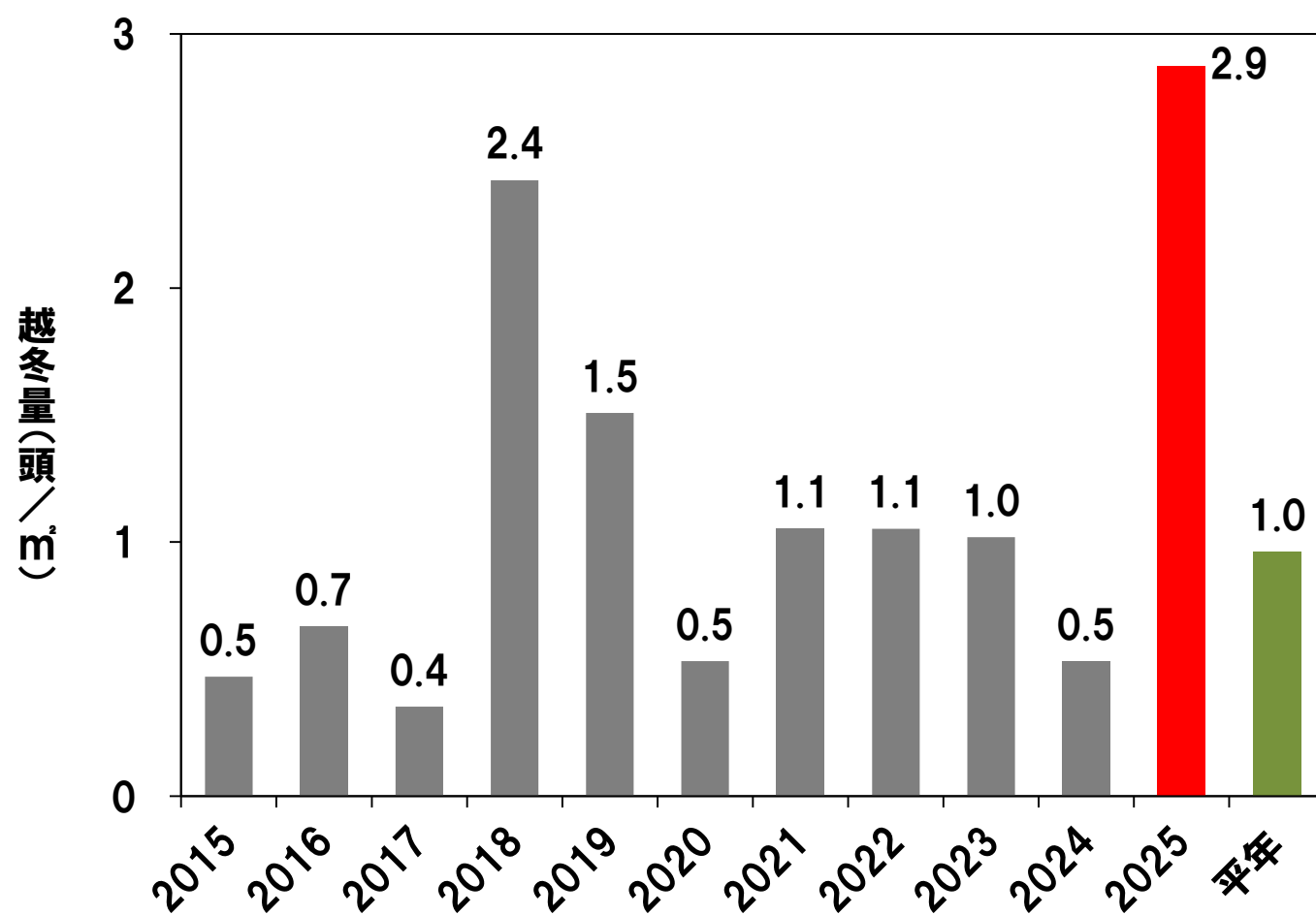
ヒノキ球果(実)の着果量



2025年のヒノキ着果量は**平年より少ない**
(果樹カメムシ類は球果を餌として増殖するため、
着果量が少ないと新成虫の増殖は抑制される)



チャバネアオカメムシ越冬量(2025年)



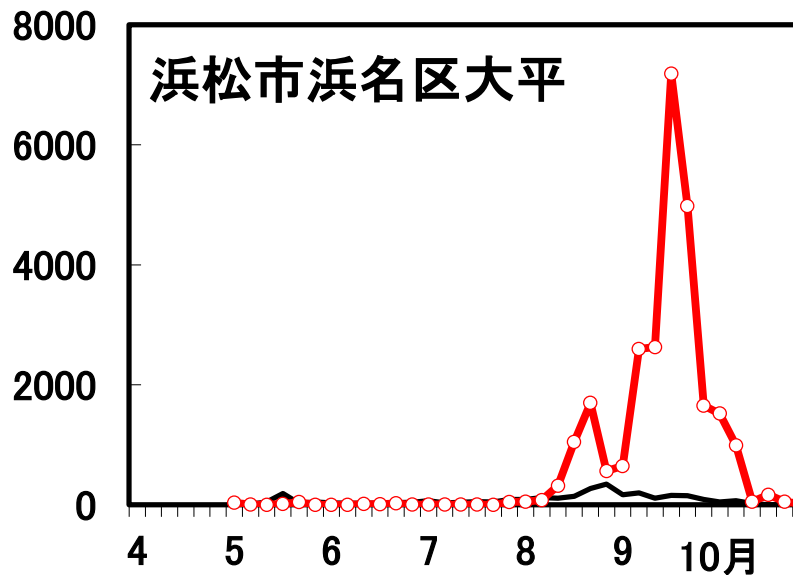
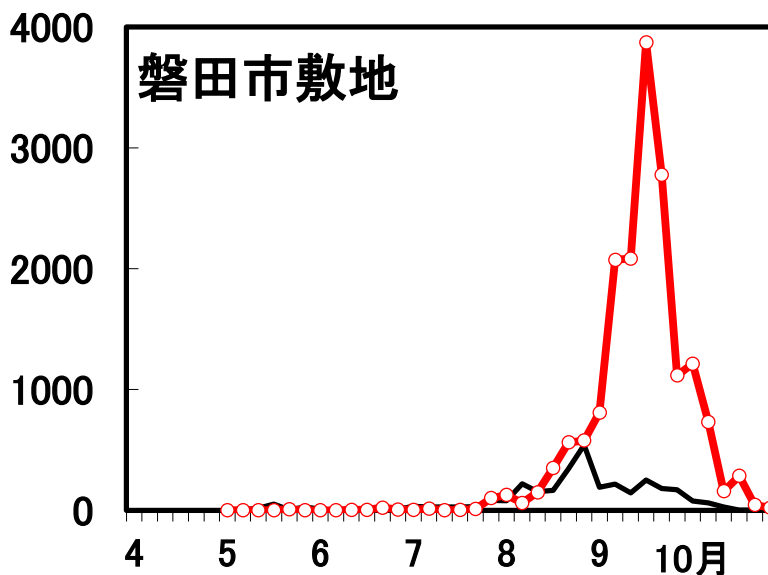
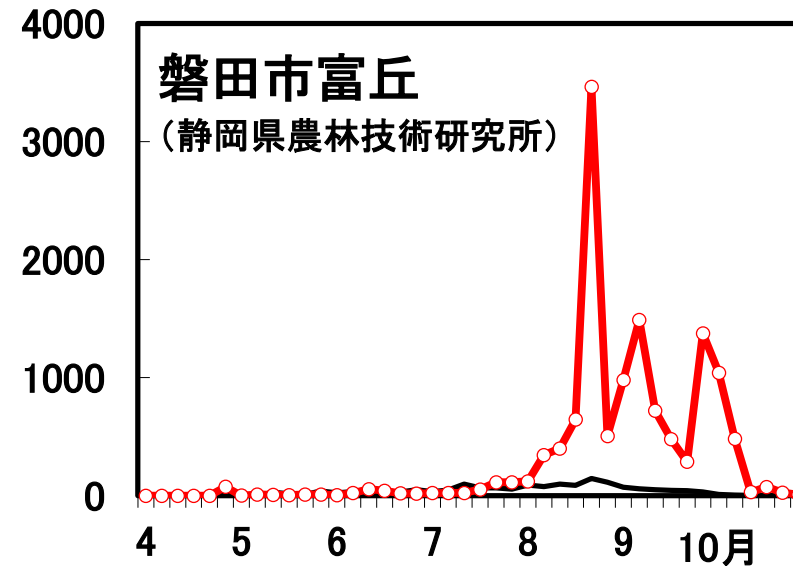
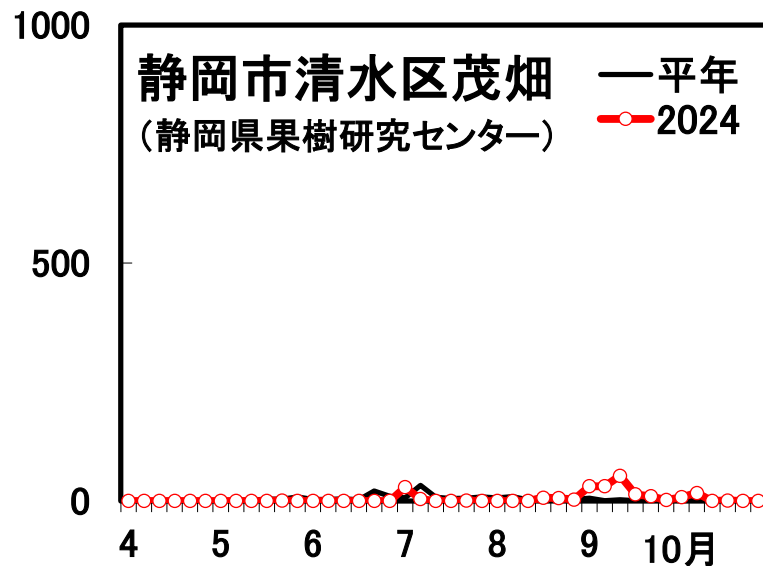
チャバネアオカメムシ越冬量は**平年より多い**



チャバネアオカメムシ 2024年の発生状況 (予察灯)

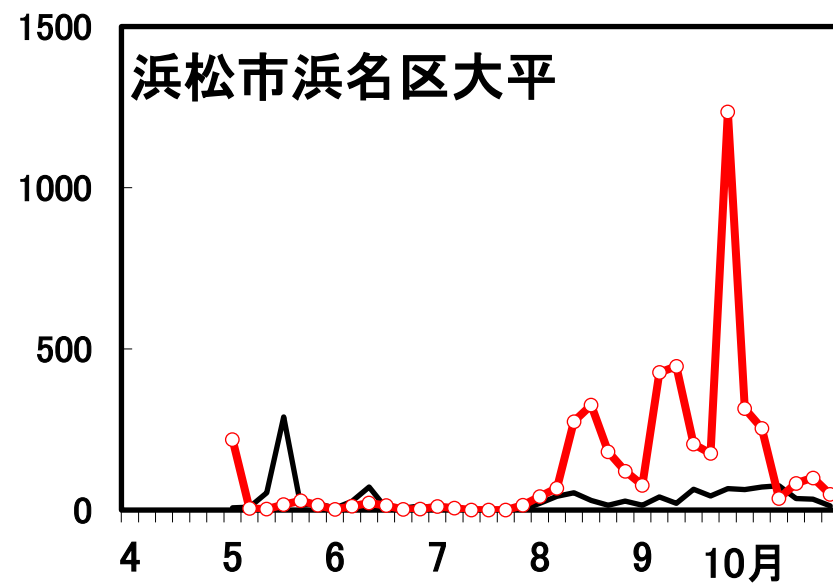
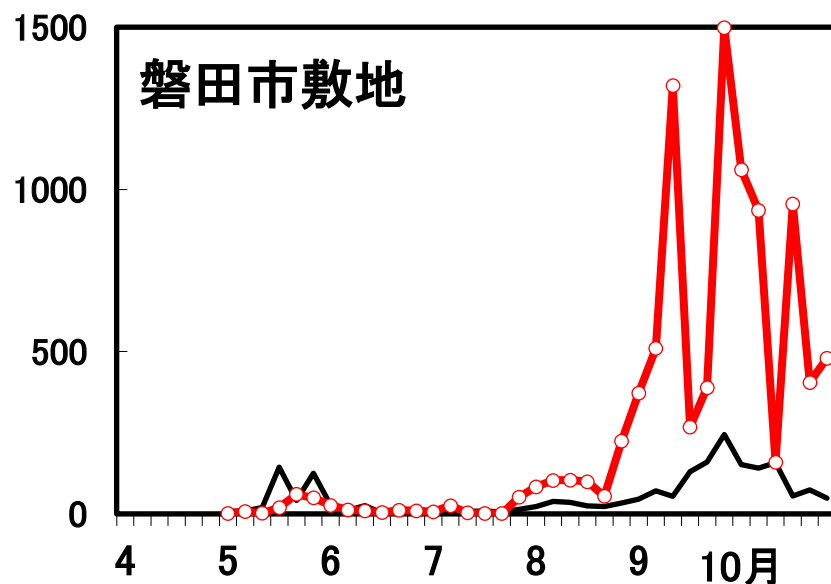
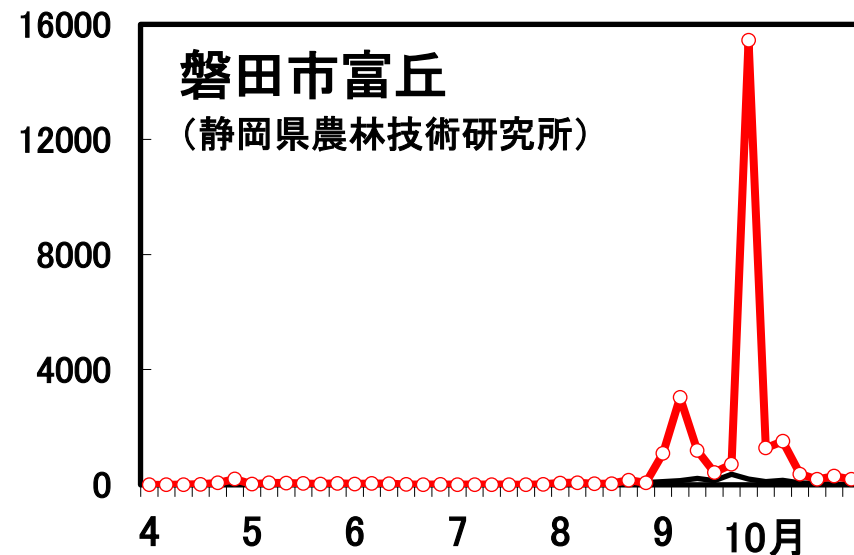
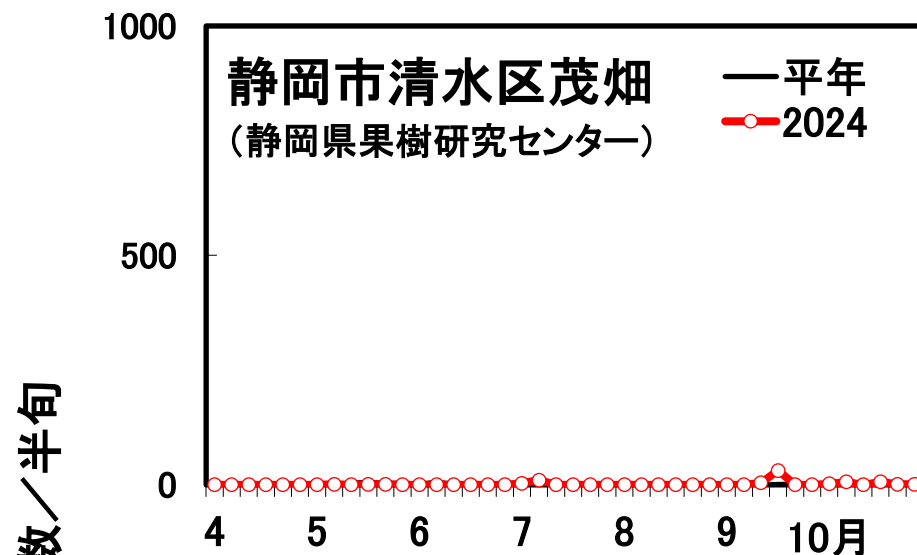


誘殺数／半旬



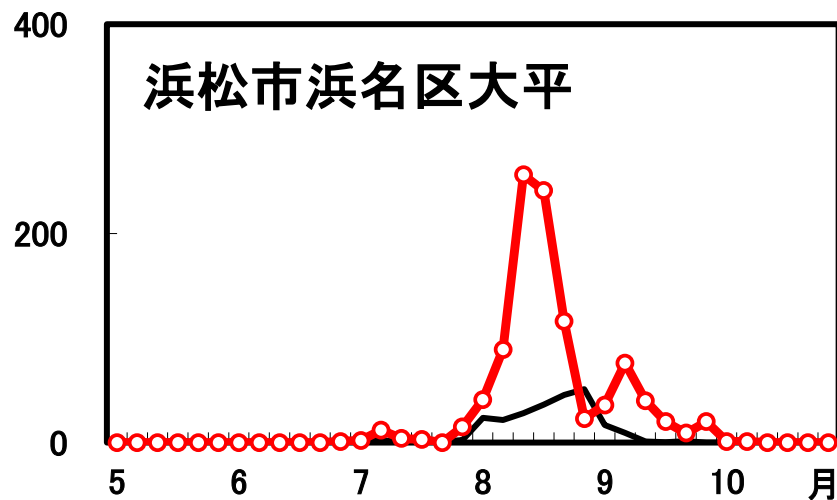
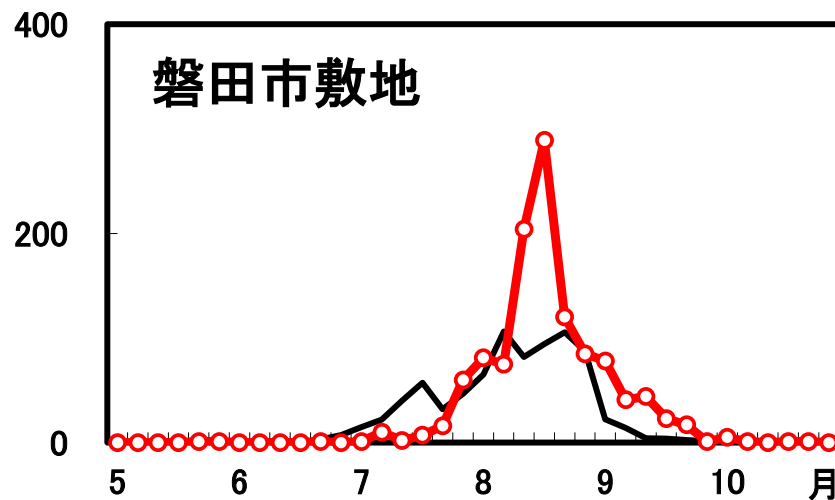
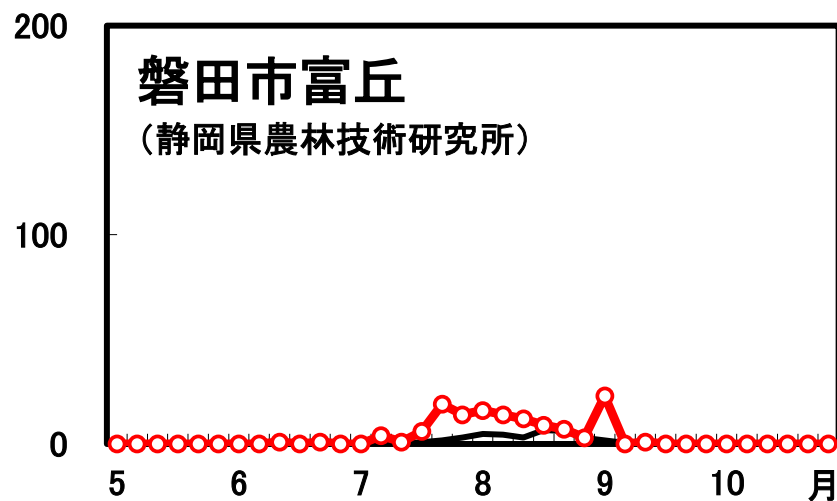
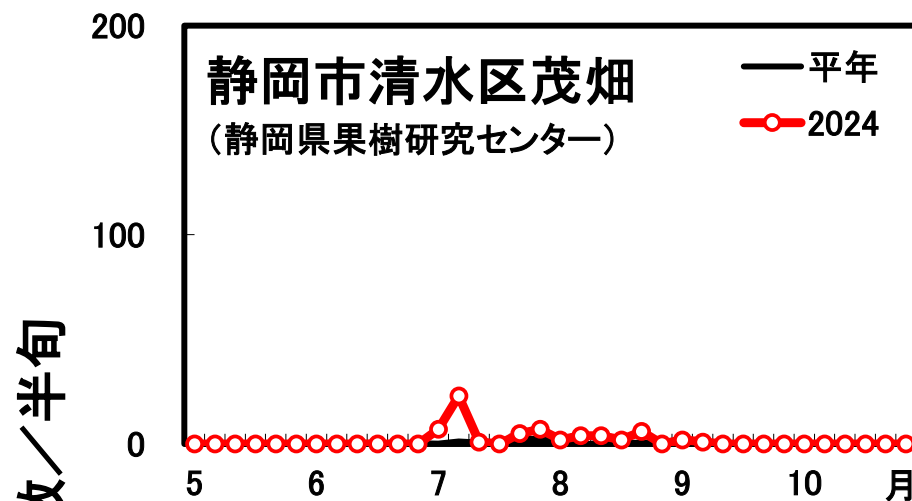


ツヤアオカメムシ 2024年の発生状況 (予察灯)



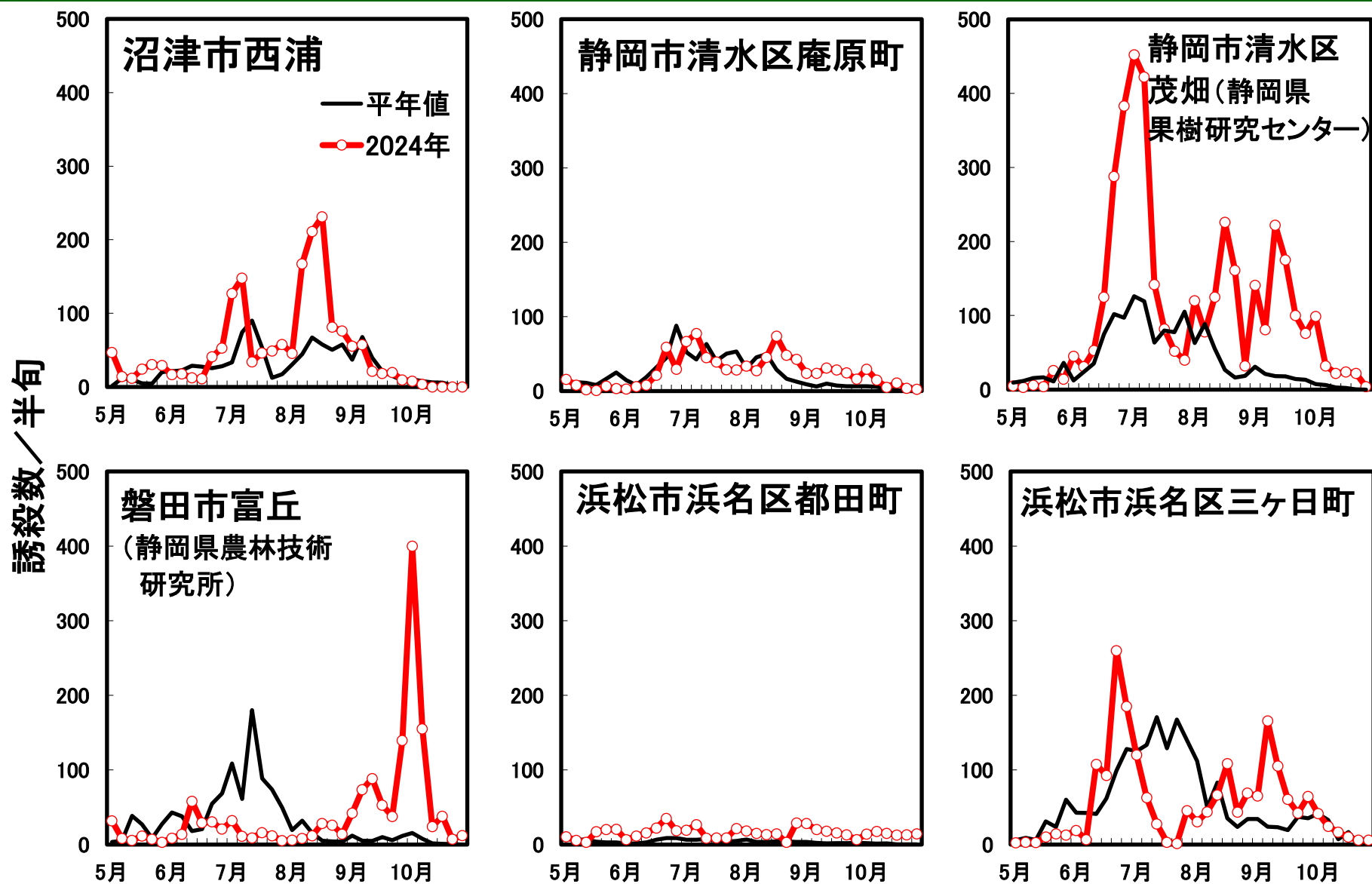


クサギカメムシ 2024年の発生状況 (予察灯)





チャバネアオカメムシ 2024年の発生状況 (フェロモントラップ)

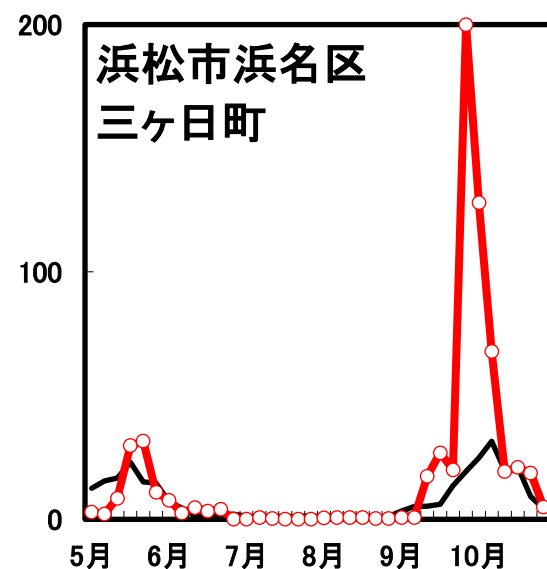
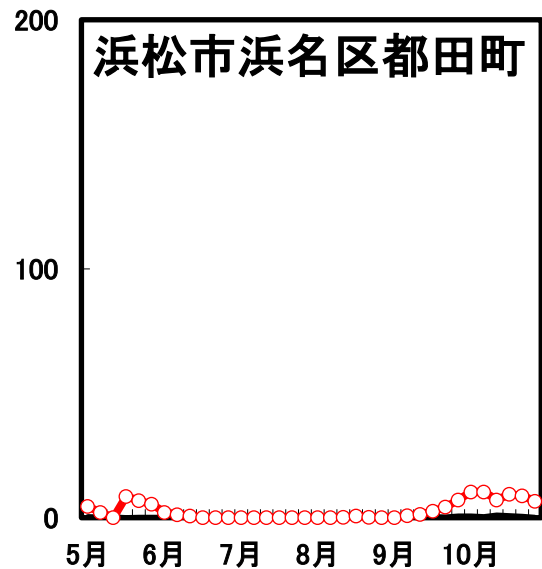
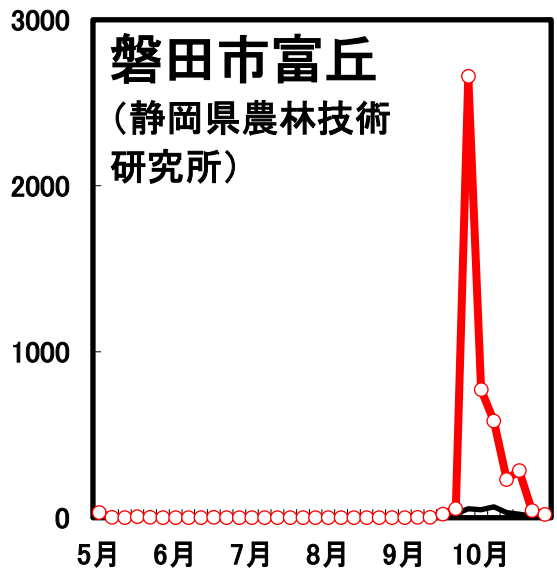
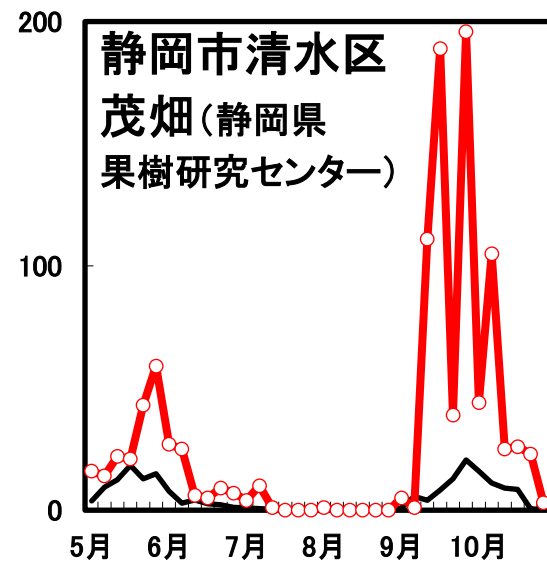
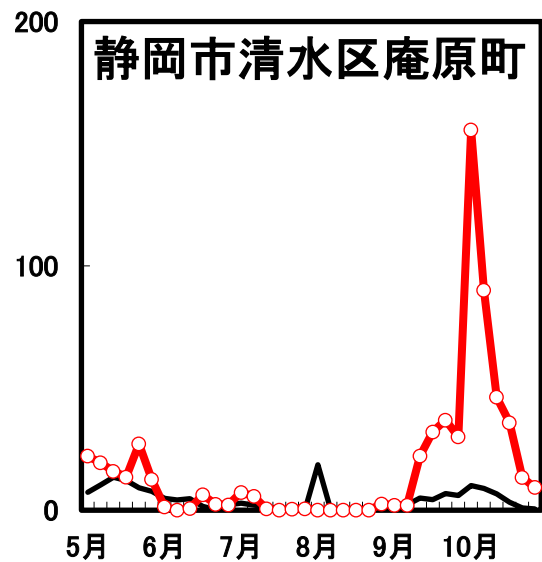
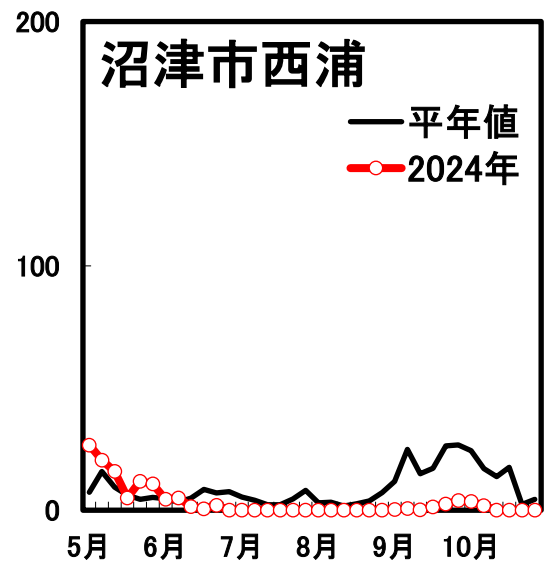




ツヤアオカメムシ 2024年の発生状況 (フェロモントラップ)

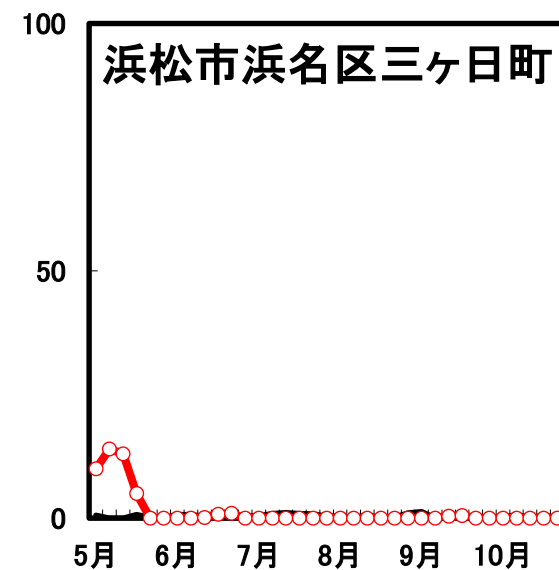
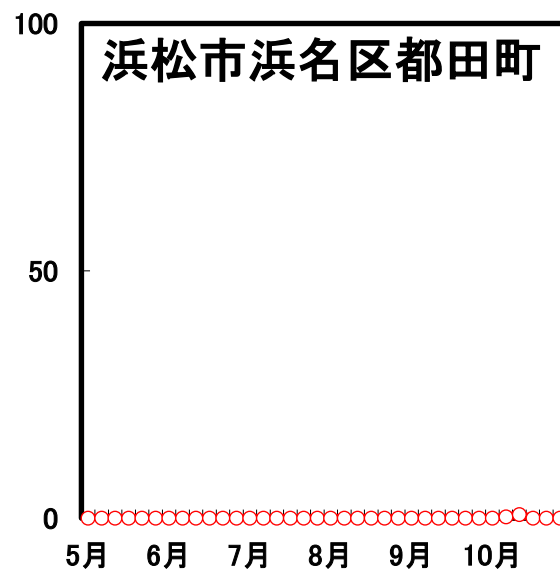
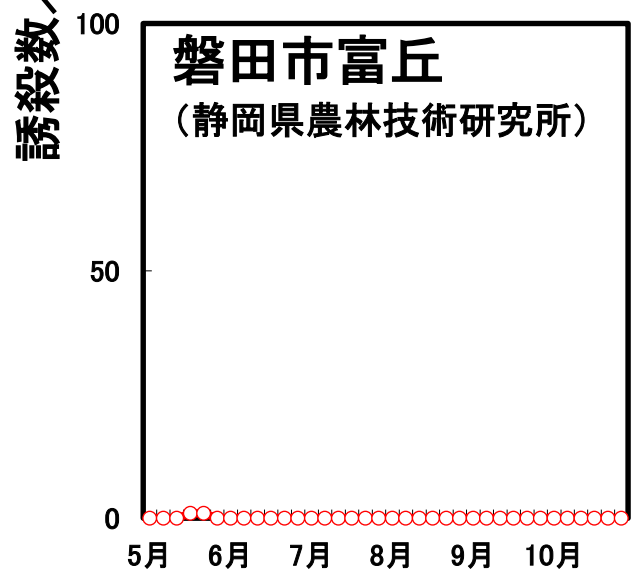
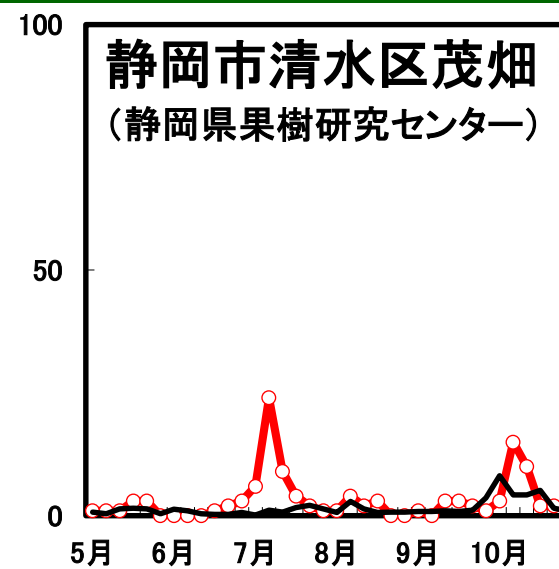
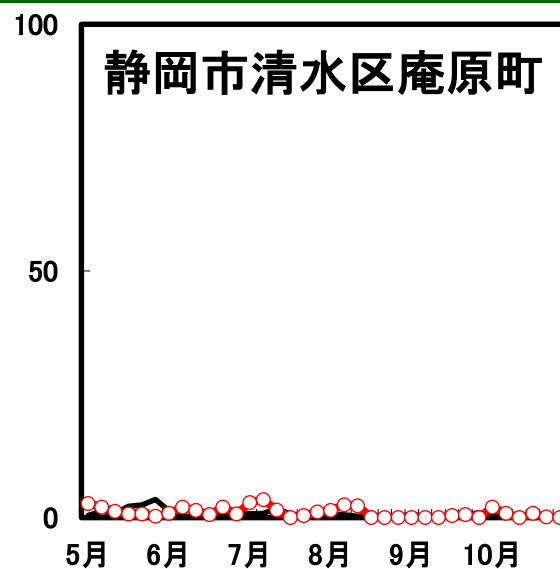
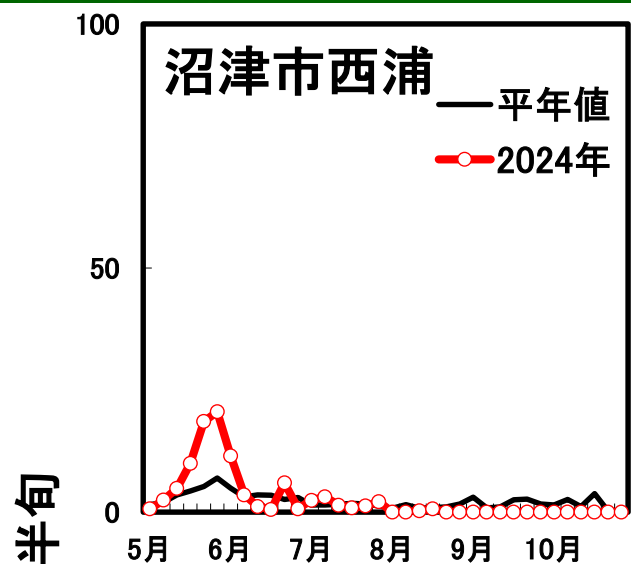


誘殺数／半旬





クサギカメムシ 2024年の発生状況 (フェロモントラップ)



誘殺数／半旬